

次の、おいしさへ。

JAめむろ

夢あふり

2024.

9

vol. 613

夏期懇談会開かれる



トップニュース

愛菜屋恒例イベント

「スイートコーン祭り」開催



JAめむろ
Instagram



JAめむろ
HP



めむろファーマーズマーケット 愛菜屋 「スイートコーン祭り」開催

8月9日、茹でスイートコーンの販売・ミニトマトすくいなど、毎年恒例の「愛菜屋スイートコーン祭り」を開催いたしました。

販売開始の30分前から長蛇の列ができ、ゴールドラッシュをはじめ、あまいんです・ホワイトショコラ・ほしつぶコーン・ミルフィーユ・ドルチェドリームなど10種類を販売。1,200本の茹でスイートコーンは開始から2時間あまりで完売となりました。

今期の営業も残り3ヶ月余りとなりますが、今後もお客様に安心して利用いただける、地域に密着した直売所として営業をしてみたいと思いますので、皆様のご来店をお待ちしております。

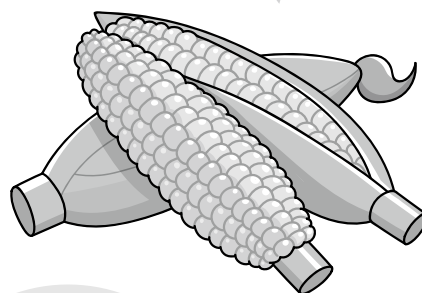
【9月の営業カレンダー】

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	⑤	6	7
8	⑨	10	11	⑫	13	14
15	⑬	17	18	⑭	20	21
22	⑮	24	25	⑯	27	28
29	⑰					

○印は定休日

営業時間 9:00~17:00



【お詫びと訂正】

夢あぐり8月号に掲載された「女性部 役員・支部長合同視察研修」につきまして、めむろワイナリー(株)取締役の菊地英樹氏のお名前の表記に誤りがありました。深くお詫び申し上げますと共に、下記の通り訂正させていただきます。

誤 菊地秀樹氏 → 正 菊地英樹氏

今月の夢あぐり

- P 2 「スイートコーン祭り」開催
お詫びと訂正
- P 3 夏期懇談会開かれる
第35回農協杯パークゴルフ大会
- P 4 あぐり広場
芽室町南瓜生産組合 役員道外視察研修
- P 5 芽室町百合根生産組合 役員道外視察研修
芽室町百合根生産組合 十勝管内ゆり根地区会議
- P 6 令和5年度外部出資先の決算状況と配当金
受入状況について
- P 9 第56回芽室町納涼盆踊り大会
小麦の収穫作業終える
芽室町新農業経営者育成システム
第29期研修生の応募は9月30日まで

- P 10 JA女性部 (女性部情報)
JA YOUTH (青年部情報)
- P 11 ストップ! 農作業事故
- P 12 もうける農業経営の実践
- P 13 こんにちは! 経済部です
- P 14 初級職員組合員宅研修報告
- P 15 退職のお知らせ
第35回芽室町農協年金友の会総会の開催について
- P 16 緑のめぐみ館からお知らせ
共済課からお知らせ
- P 17 JAグループ北海道の農政活動強化に向けて
- P 18 JAバンクアプリ プラス新登場!
- P 19 理事会だより
連載 JAの基礎【報徳編】
- P 20 芽室町農協史
- P 22 JAカード限定! 直売所キャンペーン

夏期懇談会開かれる

夏期懇談会がＪＡ会議室において、８月１９日・２０日に地区別、８月２１日午前に女性農業者、午後に青年農業者を対象に開催され、のべ２２４名の組合員に参加をいただきました。

会場では、第９次芽室町農業振興計画１年目の報告、第３１回ＪＡ北海道大会組織討議及び各部概況説明をおこないました。会場ならびにＪＡコネクでいただいたご意見などは、１０月に発行する「懇談会の主な意見要望」に掲載いたします。お手元に届きましたら、ご家庭内での共有をお願いいたします。



女性農業者懇談会



青年農業者懇談会

第35回農協杯パークゴルフ大会

７月１８日、第３５回農協杯パークゴルフ大会が南パークゴルフ場（芽室南３線）で開催され、３６名が参加しました。連日の高温少雨の影響で芝生が乾燥している難しいコースコンディションであり、この日も午前中から３０度を超える猛暑での開催でしたが、参加者の皆さんは日頃の練習成果を競い合いつつ、親睦を深めていました。

優勝は男性の部 前田光盛さん 女性の部 大西信子さんとなりました。

結果は次の通りです。

男性の部

順位	氏 名	トータル	ハンデ
優 勝	前田 光盛	110	6
準優勝	草野 州博	111	
3 位	林 勝男	112	4
4 位	橋本 正常	113	6
5 位	米山 政男	115	

女性の部

順位	氏 名	トータル	HDC
優 勝	大西 信子	114	6
準優勝	瘡師 ユミ	120	4
3 位	前田美智子	122	6
4 位	安藤笑美子	123	1
5 位	伊丹 明子	124	5



後列左から 安藤笑美子さん、前田美智子さん、草野州博さん、
米山政男さん、橋本正常さん、伊丹明子さん
前列左から 瘡師ユミさん、林勝男さん、前田光盛さん、
大西信子さん



あぐり広場



農事組合▶ **東坂の上**

氏名（年齢）▶

谷口明美さん
(40歳)

経営主▶ **谷口陽平さん**



◆出身地と前職

帯広市 自動車ディーラー サービスフロント

◆ご自身の性格

スーパーポジティブ

◆趣味

バイク、旅行、服を買うこと

◆農業にたずさわり、驚いたことや初めて知ったことはありますか？

ながいも収穫までの工程が多くて大変なところが驚きました。

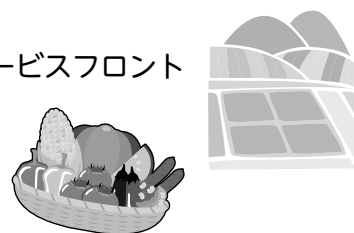
◆農業にたずさわっている中で

喜びを感じる瞬間はいつですか？

秋のながいも収穫が終わり冬休みに入る時、
今年もがんばった！と思い、豪遊する瞬間 ^^

◆今後の目標や挑戦してみたいことは何ですか？

農家友達と筋トレして、40代少しでも痩せて老化を防ぐことが目標です！



芽室町南瓜生産組合 役員道外視察研修

6月30日～7月2日、芽室町南瓜生産組合役員6名、事務局1名にて横浜丸中青果(株)、セントライ青果(株)、奈良中央青果(株)の3市場で視察研修を実施いたしました。

令和5年産における販売の御礼及び南瓜相場などの情報交換、販売対策の協議をおこないました。

令和5年産のめむろ産くり将軍は、厳選した出荷と販売の回転が早かったこともあり、品質クレームは少なかったとのことで、本年も引き続き良品質出荷を求められました。

また、昨年のように高温が続くことで他産地の出荷時期が早まっていくと、10月以降の物量が減ってしまうことが予想されるため、9月から10月にかけて長い期間出荷できる産地として、今後も作り続けてほしいと強く希望されました。



「奈良中央青果(株)」との協議のようす



「セントライ青果(株)」にて

芽室町百合根生産組合 役員道外視察研修

6月23日～25日、芽室町百合根生産組合役員3名、事務局1名にて広印広島青果(株)、大阪中央青果(株)、カネト青果(株)、J A全農青果センター(株)の4社を訪問し、令和5年産販売の御礼及び令和6年産に関わる販売協議をおこないました。

令和5年産の百合根は、新型コロナウイルスの規制が5類へと緩和されたことで、外食需要が回復し、国内外の百合根需要がコロナ禍前に戻りつつある中での販売となりました。

品質も良好で綺麗な百合根が多く、出荷先からも高い評価をいただきました。

引き続き、今年産もめむろ産百合根としての産地確立に取り組み、販売先と連携した出荷をおこないます。



広印広島青果(株)にて



大阪中央青果(株)で協議のようす

芽室町百合根生産組合 十勝管内ゆり根地区会議

7月2日、十勝管内で百合根を作付する生産者と、5 J Aの事務局含め総勢41名が参加した「十勝地区ゆり根栽培技術講習会」がJ A忠類で開催され、芽室町百合根生産組合役員3名、組合員4名、事務局で参加しました。

近年は新型コロナウイルスの影響などにより、十勝管内の百合根生産者同士で交流の機会を設けることができませんでしたが、今年度から栽培講習会を復活させ、十勝管内の百合根生産者同士の交流を図ることを目的に開催されました。

まず、忠類の百合根生産者のほ場において、今年産の生育状況や畑の状況についての説明を受けました。その後、J A忠類の事務所にて外部講師による栽培講習会をおこない、百合根の栽培に関する知識を深めました。

栽培講習会終了後は懇親会を開催し、生産者同士の交流を深めました。

久しぶりの再会を喜ぶ生産者が多く、大変有意義な講習会となりました。



ほ場研修のようす

令和5年度 外部出資先の決算状況と配当金受

■ 出資先の決算状況

出 資 先	純 資 産 額	前 期 繰 越 利 益	当年度剰余金 ▲は損失金	各種積立金 取り崩しなど	未 処 分 利益剰余金	利益準備金
北海道信用農業協同組合連合会	209,775,000	4,545,996	3,714,000	433,000	8,694,440	750,000
ホクレン農業協同組合連合会	112,605,000	3,447,664	6,375,000	780,000	10,603,290	1,280,000
北海道厚生農業協同組合連合会	45,324,123	3,865,201	▲ 137,928		3,727,273	
十勝農業協同組合連合会	4,549,883	30,857	▲ 221,596	271,961	81,222	
農 林 中 央 金 庫	4,211,533,000	172,117,000	59,934,000	6,021,050	238,072,589	12,000,000
全国農業協同組合連合会	368,872,000	2,300,000	18,902,000	9,970,983	31,175,065	3,780,415
全国共済農業協同組合連合会	5,108,427,000	46,458,888	48,364,000	70,962,000	165,785,000	9,672,825
全国酪農業協同組合連合会	15,212,330	261,599	▲ 402,863	300,000	158,736	
全国畜産農業協同組合連合会	484,990	2,314	▲ 33,954	35,000	3,360	700
よ つ 葉 乳 業 (株)	50,208,000	3,130,000	4,276,000		7,406,000	
(株) ロジネットジャパン	7,730,000	3,328,778	990,000		4,318,778	1,932,000
芽 室 ガ ス (株)	145,133	▲ 5,663	3,756	8,000	6,093	
(株) 北海道畜産公社	6,402,376	465,628	439,117	700,000	1,604,746	
(株)十勝くみあい農機事業センター	453,156	53,897	3,797		57,694	
農 協 サ イ ロ 株 式 会 社	2,443,211	418,259	176,551		594,810	
(株) ホ ク レ ン 商 事	6,488,838	4,575,792	1,045,352		5,621,144	1,612
(株) 日 本 農 業 新 聞	5,735,242	2,491,220	219,766		2,710,986	1,824
(株) 農 協 観 光	2,147,860	▲ 2,060,192	554,294		▲ 1,505,897	
(株) JA 北海道情報センター	2,623,989	517,288	116,700		633,989	
カ ル ビ ー 株 式 会 社	179,347,000	122,816,000	23,613,000	17,000	146,446,000	
北海道農業信用基金協会	30,835,653	0	402,604		402,604	402,604
十勝広域森林組合	1,837,564	81,054	6,316	230,000	317,370	1,500
ジェイエイめむろフーズ(株)	150,722	0	186		186	

■ 配当金受入状況

(単位：円)

出 資 先	出資金期末残高	配 当 率	出資配当金	特別配当金	配当金合計	前年配当金額合計
北海道信用農業協同組合連合会	2,680,790,000	普通出資1.0% 後配出資0.5%	19,988,550	15,246,989	35,235,539	32,804,483
ホクレン農業協同組合連合会	362,700,000	2.0%	7,254,000	96,625,288	103,879,288	104,919,636
十勝農業協同組合連合会	41,340,000	4.0%	1,653,600	—	1,653,600	1,653,600
農 林 中 央 金 庫	17,200,000	—	—	—	—	516,000
全国農業協同組合連合会	100,000	4.0%	4,000	—	4,000	3,000
全国共済農業協同組合連合会	389,900,000	2.0%	7,798,000	9,170,831	16,968,831	15,871,708
全国酪農業協同組合連合会	2,040,000	1.0%	20,400	—	20,400	20,400
よ つ 葉 乳 業 (株)	21,200,000	30,000円 / 株	6,360,000	—	6,360,000	1,696,000
(株) ロジネットジャパン	1,900,000	120円 / 株	2,758,800	—	2,758,800	2,758,800
芽 室 ガ ス (株)	5,108,427,000	20.0%	200,000	—	200,000	200,000
(株)十勝くみあい農機事業センター	474,000	50円 / 株	23,700	—	23,700	23,700
(株) 日 本 農 業 新 聞	50,000	1,000円 / 株	1,000	—	1,000	1,000
(株) 農 協 観 光	2,060,000	—	—	—	—	—
カ ル ビ ー 株 式 会 社	78,000,000	56円 / 株	11,200,000	—	11,200,000	10,400,000
十勝広域森林組合	2,112,000	—	—	—	—	84,480
(株) ホ ク レ ン 商 事	20,000,000	6.5円 / 株	75,400	—	75,400	75,400
その他(北海道厚生連他7団体)	314,835,000	—	—	—	—	—
計	9,043,128,000		57,337,450	121,043,108	178,380,558	171,028,207

※出資金期末残高は令和6年3月31日の金額です。(評価差額は除く) ※芽室ガス(株)は、決算期の相違により前年度分を記載しています。(合計に含む)

入状況について

(単位：千円)

未 処 分 利 益 内 訳			
特別積立金	出資配当金	特別配当金	次期繰越金
1,400,000	972,744	857,970	4,713,726
3,100,000	401,332	2,700,001	3,121,956
3,200,000			527,273
	34,143		47,079
			226,072,589
15,463,430	4,531,220	4,100,000	3,300,000
79,791,422	15,130,744	14,143,262	47,047,291
	62,560		96,175
			2,660
2,500,000	177,000		4,729,000
	776,000		1,609,000
	1,630		4,463
1,000,000			604,746
4,000	500		53,194
100,000			494,811
	16,129		5,603,402
	18,248		2,690,913
			▲ 1,505,897
			633,989
232,000	6,508,000		139,706,000
			0
222,047	6,830		86,992
			186

令和5年度 出資先の決算内容

1. 北海道信用農業協同組合連合会

金融推進では、J A・信連の一体的推進の強化、また、J Aバンクローン取組強化プランの実施支援と利用者ニーズを踏まえたネットローン商品拡充やローン商品の見直しなどによる炉容赦満足度の向上に取り組みましたが、貯金残高は3兆2,633億円（前年比0.2%減）となりました。資産運用では、市場動向や資金動向などを見極め、資産配分最適化を図り、効率的な運用を実施しました。人口減少などによる事業基盤の縮小や賃上げペースを上回る物価の高止まりなどの影響により、税引前当期利益は48億45百万円（前年比8.3%減）、当期剰余金は37億14百万円（前年比22.6%減）となりました。

2. ホクレン農業協同組合連合会

令和5年度は、記録的な猛暑の影響を受け、一部の地域や圃場で生育不良・病害虫などが発生したことで品質・収量を大きく落とし、酪農においても生乳生産量が前年を下回りました。このような環境の中、環境変化への対応や新たな挑戦の具体的取り組みを行動計画に落とし込み、生産者負担の軽減に向けた技術支援・コスト低減の取り組みや各種対応の実施、農業所得の向上に向けた在庫対策などによる需要の確保や増産した生産コストの価格転嫁などを実施しました。取扱高は1兆6,079億円（前年比0.3%増）となり、当期剰余金は63億75百万円（前年比6.3%増）となりました。

3. 北海道厚生農業協同組合連合会

令和5年度は各事業所が「コロナ禍経営からの脱却」をテーマに自立経営をはかり、地域完結型医療や地域包括ケアシステムへ貢献するために必要となる機能と体制を整えるよう事業を推し進めました。また、令和6年1月に発生した能登半島地震におきましては、DMA T（災害派遣医療チーム）や薬剤師の派遣を行い、被災地の災害医療と調整業務などに従事しました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の類型が5類に変更されましたが、引き続き感染症クラスターが散見され、コロナ禍経営からの脱却には至りませんでした。事業収益は843億円4千万円（前年比3.0%増）となりましたが、事業費用は886億4千万円（前年比2.3%増）となり、国の緊急包括支援補助金などは約36億円を計上しましたが当期損失金は1億3千万円（前年剰余金47億4千万円）となりました。

4. 十勝農業協同組合連合会

第9次中期計画に基づき、組合員が農畜産物を安定供給し、経営管理、生産管理の高度化により農業所得の向上を図ることができるよう、耕畜連携の推進や農作物や家畜の防疫体制の強化などによる強固で豊かな生産基盤の確立に取り組みしました。また、家畜の防疫では、各種伝染性疾患のスクリーニング検査を推進し、生産損失の未然防止に努めました。経常利益は63百万円を計上しましたが、農協連ビルの新設による影響により当期損失金は2億21百万円（前年損失金33億23百万円）を計上し、経営基盤強化積立金の取崩しをいたしました。

5. 農林中央金庫

年度末総資産は96兆4,167億円（前年比5.4%増）、調達面は預金残高62兆8519億円（前年比1.5%減）、農林債発行残高3,795億円（前年比16.5%減）となり、運用面では貸出金残高16兆9,907億円（前年比0.5%増）、有価証券残高44兆1,231億円（前年比10.1%増）となりました。損益状況については、米国を中心とした海外中央銀行の政策金利の高止まりを受けた収益環境の悪化を踏まえ、健全性を重視した財務運営に努めた結果、経常収益は2兆9,844億円（前年比38.7%増）を計上し、経常費用は2兆8,648億円（前年比34.6%増）となり、当期剰余金は599億円（前年比29.3%増）となりました。

6. 全国農業協同組合連合会

当期取扱高は、米穀・燃料の取扱数量の増加や価格の上昇などがありましたが、肥料の値下げ改定などにより4兆9,348億円（前年比0.5%減）となりました。事業利益は41億48百万円（前年比28.3%減）となりましたが、事業外収益増加などにより当期剰余金は189億2百万円（前年比20.5%増）を計上しました。

7. 全国共済農業協同組合連合会

令和5年度は「J A共済3か年計画」の中間年度として、事業基盤づくりの実現に向けた共済事業体制総点検運動の展開、また、推進活動を後押しするための環境整備を図るとともに、組合員・利用者一人ひとりのニーズを捉えながら、最適な保障を届けるための取り組みを実施しました。総資産は58兆4,751億円（前年比1.4%増）となり、将来生じうる共済金などの支払に備え積み立てている責任準備金は49兆9,659億円（前年比0.8%減）となりました。当期剰余金は483億円（前年比32.4%減）を計上し、支払余力比率については1,079.8%（前年比15.6ポイント減）となりました。

8. 全国酪農業協同組合連合会

酪農事業は、昨年に引き続き高水準にある乳製品在庫の積み増しを防ぐための生産抑制施策に加えて、夏場の記録的な猛暑の影響により全国的に減産基調となりましたが、酪農事業総取扱高は365億18百万円（前年比7.6%増）となりました。購買事業では、穀物相場の高騰や、為替相場の円安進行、国内副原料の需給逼迫などの影響により、総取扱高は966億52百万円（前年比8.9%減）となりました。酪農・購買事業合計では総取扱

高1,331億71百万円（前年比4.8%減）となり、経常損失は2億13百万円、当期損失金は4億2百万円（前年損失金4億54百万円）を計上しました。

9. 全国畜産農業協同組合連合会

購買事業では、肉用牛経営での飼料費は生産コストの34%を占め、配合飼料価格の高騰と長引く牛枝肉の卸売価格の低迷から肉用牛経営の廃業や大規模経営では食品副産物を利用した発酵飼料への切り替えにより配合飼料の取扱いが大きく減少しました。当期供給高は72億55百万円（前年比12.5%減）となりました。販売事業は、全国8施設で運営している食肉事業所での集荷・流通販売が順調に推移し、販売高は465億19百万円（前年比3.2%増）となりましたが当期損失金は33百万円（前年剰余金0.9百万円）となりました。

10. よつ葉乳業株式会社

生乳生産抑制と脱脂粉乳の過剰在庫解消に向けた需要置き換え対策を前年度に引き続き実施したことにより、全国の脱脂粉乳在庫は48千tまで減少しました。販売に関しては、家庭用牛乳類・バター・チーズは販売数量が減少しましたが、製品価格の改定により売り上げは前年を上回りました。海外事業については、SNSの活用や販売促進活動により着実に市場を開拓しました。この結果、売上高は1,234億81百万円（前年比2.8%増）、経常利益59億63百万円（前年比55.6%増）、当期剰余金42億76百万円（前年比64.5%増）を計上しました。

11. 株式会社ロジネットジャパン

燃料価格の高止まりや輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加していることに加え、物価上昇による消費の伸び悩みに起因する物量の減少により、依然として厳しい状況が続いているなか、業務のIT化及び車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組みました。営業収益は42億42百万円（前年比13.8%増）、経常利益は10億94百万円（前年比30.7%増）、当期剰余金は9億90百万円（前年比30.0%増）を計上しました。

12. 芽室ガス株式会社

新型コロナウイルスの類型が2類から5類に移行しましたが、感染拡大に伴う影響は依然として多大であり、消費者の生活様式が変化し、地政学リスク・世界の中央銀行との金利差による円安などに加え、少子高齢化による労働生産性のある家庭の減少といった影響による需要家の消費支出の減少もあり、売上総利益は77,050千円（前年比4.9%減）となりました。経常損失は1,237千円となりましたが、特別利益の増加により当期剰余金は3,756千円（前年損失金3,350千円）となりました。

13. 株式会社北海道畜産公社

処理部門では、前年と比較し、乳用種経産牛は減少しましたが、肉用牛や乳用種肥育牛は増加しており、また豚においても出生率低下や疾病などによる発育不良から回復傾向にあり、取扱頭数は増加しています。費用面においては、修繕費や補修備品費などが減少しました。この結果、当年度の売上高は106億96百万円（前年比0.6%増）、当期剰余金は4億39百万円（前年比31.1%増）となりました。

14. 株式会社十勝くみあい農機事業センター

令和5年度についても、生産者の営農コスト低減に向けた中古農機などと営農資材類の安価安定供給、月極駐車場稼働率向上を柱に事業を展開しました。売上高は18億9百万円（前年比6.3%減）、当期剰余金は3百万円（前年比18.7%減）を計上しました。

15. 農協サイロ株式会社

小麦受入については、当年産の入庫数量は計画対比93.0%の108,921.5tとなりました。事業収入は当年産生産数量増により利用料・保管料・中継料ともに数量計画を達成すると共に、

施設経費などの節減も相俟って事業計画を上回る営業利益を確保することができました。営業収益は5億81百万円（前年比2.1%増）となり、当期剰余金は1億76百万円（前年比21.3%増）を計上しました。

16. ホクレン商事

店舗事業では、洋日配と冷凍食品の売場を拡大するとともに、品揃えを大幅に増やし最新の冷凍ケースへ切り替え、お客様の生活様式に合致した売場を実現しました。営業事業では、燃料などのエネルギー価格高騰を背景とした物価の上昇など、市場環境が急変するなか、顧客からの要望に柔軟に対応し販売の機会を着実に捉えるよう、情報の収集と発信に取り組みました。リース事業では、畜産クラスター事業を主力とした農業機械の補助事業リースについて酪農情勢や生産動向などの情報交換に努めました。売上高は652億56百万円（前年比2.4%増）となり、当期剰余金10億45百万円（前年比61.5%増）を計上しました。

17. 株式会社日本農業新聞

本紙の普及では、年間平均部数が27万5,373部であり、減部幅の拡大に歯止めをかけることができませんでした。広告・事業開発では、15億11百万円（前年比8.8%減）となり、売上高合計は68億21百万円（前年比4.7%減）となりました。費用合計は66億57百万円（前年比1.4%減）となり、当期剰余金は2億19百万円（前年比43.0%減）を計上しました。

18. 株式会社農協観光

経営基盤の強化に向けて、費用の削減や未収金の早期回収及び基金送金の徹底により、期首時点での資金残高を超える資金を確保できました。取扱高は302億28百万円（前年比63.1%増）、売上総利益46億60百万円（前年比80.0%増）となり、当期剰余金は5億54百万円（前年損失金6億83百万円）となりました。

19. 株式会社J A北海道情報センター

令和5年度は「第5次中期経営計画（令和4年～令和6年）」の2年度にあたり、現状の課題改善は基より開発コスト低減、システムのスリム化によりITのトータルコスト低減に取り組みました。当期剰余金は1億16百万円（前年比15.3%減）を計上しました。

20. カルビー株式会社

地政学的リスクがもたらす経済への影響や中国の景気低迷など先行きが不透明な状況が続く中、価格・規格改定実施後の早期の販売回復につとめ、継続的なマーケティングや旅行需要の獲得で販売数量を伸ばすことにより収益増に取り組みました。また、前年上期に行った馬鈴しょ不足による販売抑制の解消や人流回復による土産用製品の需要増、ブランド強化のためのマーケティングなどにより増収となり、売上高は2,043億46百万円（前年比9.4%増）となり、当期剰余金は236億13百万円（前年比69.9%増）を計上しました。

21. 北海道農業信用基金協会

J Aをはじめ関係機関と連携し、農業者の経営と生活を守る保証機能の発揮に一丸となり、事業推進に取組んでまいりました。事業当期剰余金は4億2百万円（前年比43.0%増）を計上しました。年度末基金残高は257億12百万円（前年比19百万円減）、年度末保証残高は4586億11百万円（前年比1.9%増）となりました。

22. 十勝広域森林組合

林業・木材産業では、「ウッドショック」からピークアウトしておりますが、運賃の高騰、また物価上昇による需要縮小に伴う受注量の減少や製材単価の下落に対応するため価格転嫁や値上交渉などにつとめましたが、当組合運営も世界情勢の影響を大きく受け、事業収益は27億41百万円（前年比4.1%減）、当期剰余金は6百万円（前年比96.8%減）となりました。

第56回芽室町納涼盆踊り大会

第56回芽室町納涼盆踊り大会が8月17日に駅前広場でおこなわれ、畜産課による牛乳の無料配布と青年部で売店を出店しました。

多くの方が来場され、牛乳1,008本を配布することができ、青年部の売店也大盛況でした。

また、青年部、女性部、JA職員が踊り子として参加し、青年部は役員・支部長がお揃いの法被を着てプラカードやのぼりを持ち「めむろ大感謝祭」をPRし、女性部は「安心！安全！めむろ産野菜が美味しいのなあぜなあぜ？」をテーマにうちわを作成して笑顔で踊りました。JA職員もJA共済のうちわやお揃いの法被を着て笑顔で踊りました。



小麦の収穫作業終える

令和6年産共乾小麦は、昨年同様に生育が早く進み7月17日から収穫作業を開始しました（採種ほ場は18日から開始）。収穫期間中の終盤に突発的な降雨に見舞われたものの、7月25日までの実9日間で刈取りを終えました。

小麦の生育は、6月中旬以降の気温がかなり高く経過し、登熟日数が短かったものの、日照時間が多く粒肥大が確保され「きたほなみ」、「ゆめちから」ともほぼ平年の反収となりました。

品質については、粒形など外観品位は良好であり、タンパクなどの数値も基準値に収まっております。

「きたほなみ」については、過去最速となる8月1日から1等Aランクにて広尾の農協サイロへ出荷しております。「ゆめちから」についてはこれからの調製となりますが、原料の品位は良好です。

なお、本年の調製作業については9月上旬の終了見込みです。

芽室町新農業経営者育成システム 第29期研修生の応募は9月30日まで

令和7年4月に採用する育成システム第29期研修生を募集しています。

応募締め切りは9月30日（月）まで、応募資格や採用日程などの詳細は、夢あぐり7月号に掲載しております。応募を希望される方、研修内容などを詳しく知りたい方は、営農部 営農情報課へお問い合わせください。

営農情報課 TEL 62-2313

牛乳・乳製品の
新しい飲み方・食べ方を
提案！

牧場ママの試食試飲会



8月9日、Aコープめむろ店で、Aコープチェーン・北海道帯広ブロック協議会主催、十勝酪農畜産対策協議会・JA十勝地区女性協議会協力のもと牛乳乳製品の需要拡大を目的とした、「牧場ママの試食試飲会」が開催され、長山部長をはじめとする女性部中堅役員9名が参加しました。

今回は、担当3名が考案した、「ミルクラッシー」、「クラッシュコーヒーゼリーミルク」、「ドライフルーツヨーグルト」の3品を提供し、レシピの配布もおこないました。「美味しい」「家でもやってみたい」といった声も聞かれ、多くの方へ乳製品の美味しさや新しい食べ方を伝えることができ、大盛況のうちに終了しました。

ばんえい夏まつりに出店しました

帯広競馬場で開催された「ばんえい夏まつり」に8月10日～11日の2日間出店し、「めむろゴールドクラフト」「えだまめ」「ゆでとうもろこし」を販売しました。

ばんえいグランプリ開催やお笑い芸人の小島よしおさんが来場したこともあり、十勝管内のお客様に限らず、管外からの多くのお客様にも芽室町農業の魅力や芽室産農産物、青年部をPRすることができました。



ストップ! ⚠ 農作業事故

収穫時期は疲れが溜まり、注意力が低下しやすくなります。
一人ひとりが十分注意し安全な農作業につとめましょう!

【9月の作業でこんなケガが報告されています（過去4カ年抜粋）】

馬鈴しょの収穫作業では

- ⚠ 馬鈴しょの機上選別中、芋の茎が詰まったためコンベアを止め除去している最中に、誤って運転者がP T Oのスイッチを入れてしまい右手を巻き込み右手首の小さい骨の骨折と診断された。
- ⚠ トラックの荷台から芋コンテナを降ろし終えたため、アオリをあげた際に 右手中指を挟め骨折し、切断となった。
- ⚠ ハーベスターから降りる際に地面にある培土に気が付かず踏み、足を滑らせ左足の甲にヒビが入った。
- ⚠ 馬鈴しょの機上選別中、機械内の石と泥を取ろうとして 右手薬指が挟まり腱の断裂と診断された。
- ⚠ ポテトハーベスターの機上作業中、バケットとコンベアの間に左手の甲を挟み、切創と打撲を負った。

その他の作業では

- ⚠ ポテトハーベスターの修理中に降車しようとしたところ、つまずいて頭を強打し、額から出血した。
- ⚠ 枕の角掘り最中、タッピングナイフを使用しビートの葉を切って掘っていた所、誤って左手親指の第一関節部分を切った。
- ⚠ 草刈り作業中、草むらのスズメバチの巣に気が付かず襲撃された。
- ⚠ 小麦の播種作業中、播種機のドリル部分に右腕を巻き込まれ骨折した。
- ⚠ 枝豆収穫後の茎葉処理のため、倉庫でチョッパーの準備をしていた際、誤ってP T O部分に左手薬指を挟め受傷し8針縫った。
- ⚠ 畑で草刈り作業中、誤って鎌で右足の甲を切ってしまった。

家畜の管理作業では

- ⚠ 牛舎内で堆肥出しの作業中、近くにいた牛が後退し右足の小指を踏まれ打撲した。
- ⚠ 牛追い中、牛が暴れて牛と壁の間に挟まれ、腹腔内出血と診断され入院となった。
- ⚠ ショベルから降りて牧草ロールを崩していた際、サイドブレーキが甘く、緩やかなスロープでショベルが前に動き出しフォークが右膝上部を貫通した。
- ⚠ 搾乳のため牛を集めていた際、牛に突き飛ばされ鉄の柱にぶつかり右鎖骨を骨折した。

トラクターや作業機械運転中の周囲確認はしっかりと!!

重大な農作業事故として、トラクターや作業機械の巻き込み事故があります。
日が短くなり薄暗い中での農作業では、より危険が潜んでいます。特にバックの際の後方確認は、お互いに声を掛け合い十分気を付けましょう。

◇ 労災に関するお問い合わせ先 ◇

営農部営農情報課 TEL 62-2313

第4回 費用の話② ～ 肥料費

肥料費の意味するところ

肥料費は、直接費の中で最も多くの割合を占め、専従者給与を除いた費用全体の約2割に相当します。その他では減価償却費や賃料料金の割合が多いですが、これらの科目は年ごとに見直すことが難しいため、費用の見直しを考える際には肥料費に着目するケースが自然と多くなります。

肥料価格の高騰

2024年の肥料費は、2023年に比べるとやや減少したものの、依然高止まりの状況にあります（図1）。肥料は、その原料のほとんどを海外に依存しているため、原料の国際価格や、運送費、為替相場の影響を大きく受ける構造となっています。

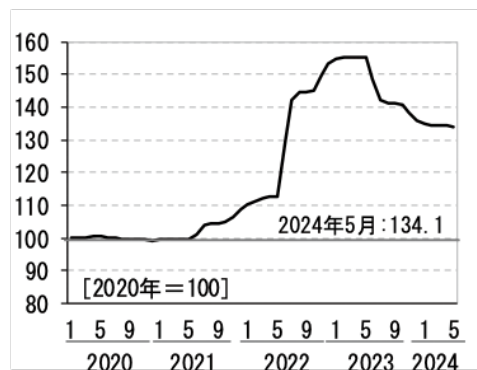


図1 肥料価格指数の推移（2020年=100）
注）農産物価指数（農林水産省）より引用

肥料費と収量及び農業所得との関係性

ここで、経営分析データをもとに肥料費と収量及び農業所得との関係性について見ていきます。今回は、スペースの都合上、畑作4品のうち作付面積の多い「秋まき小麦」と、肥料費割合が高い「てんさい」について、散布図を掲載しました（図2）。

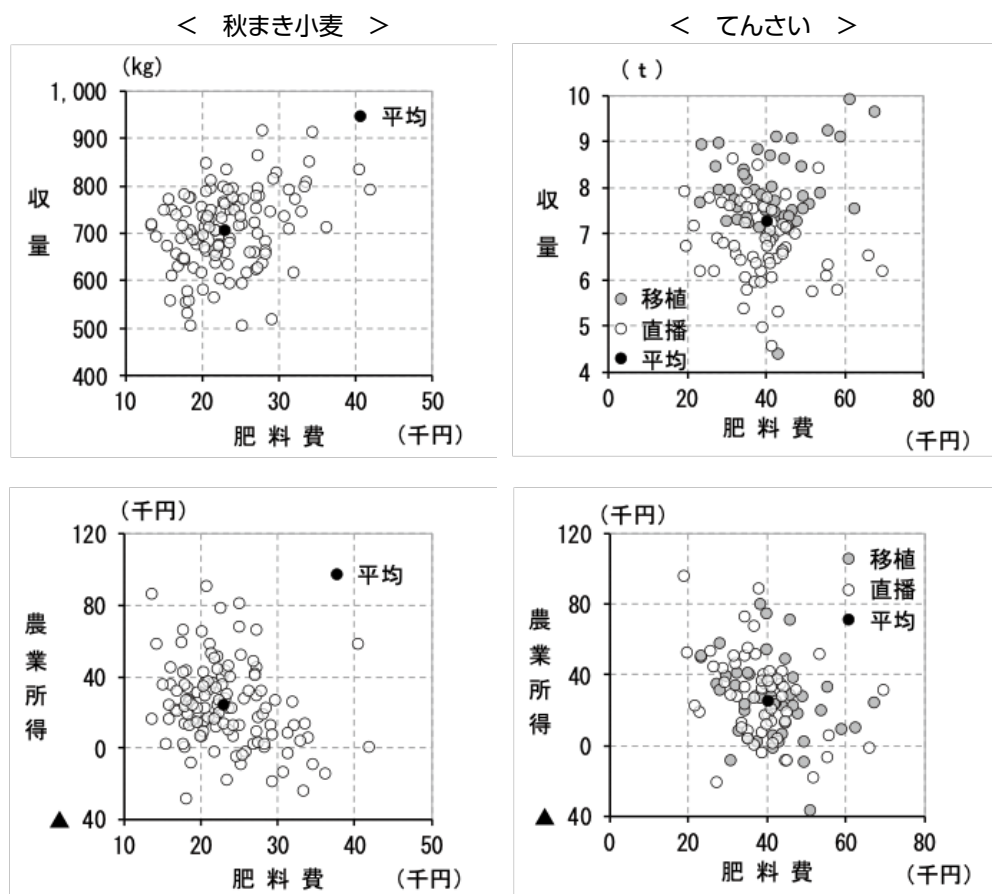


図2 10aあたり肥料費と収量および農業所得（令和5年度）
〔上段：肥料費と収量 下段：肥料費と農業所得〕

まず、肥料費と収量の関係ですが、散布図を見ると両作物とも相関は無く、かなりバラついていていることがわかります。これは、せっかく買って投じた肥料が必ずしも収量の増加に繋がっていないことを意味しています。それどころか、同じ肥料費でも収量が全然違うケースがみられます。例えば、てんさいの肥料費が4万円（40千円）くらいの経営体は、収量はおおよそ4.5t～9t超と広い範囲で散らばっています。

肥料費と農業所得の関係においても同様の傾向が見られ、同じ肥料費をかけていても最終的に手元に残るお金（農業所得）には差があることがわかります。

これから、肥料費を検討する際には、単に肥料費の削減だけを考えるのではなく、まずは自分の肥料費と収量や所得との関係を確認した上で、どうあるべきかを考えることが求められます。

すなわち、他と比べて肥料費が多いのか、あるいは、肥料費は同程度だが収量や所得が低いのか、によって対応が変わります。肥料費が多い場合には、土壌分析値に基づいた肥料設計で、過剰な施肥となっていないかを確認しましょう。肥料費が適正である場合で、収量が少ないのであれば栽培技術に問題はないかを、所得が少ないのであれば肥料費以外で所得を圧迫している費用は何かを、それぞれ洗い出して経営改善へ繋げましょう。

こんにちは！
経済部です

購買課の土・日・祝日営業案内

秋まき小麦は種の繁忙期を迎えるにあたり、下記の日程で肥料のみ休日営業いたします。(午前のみ)

下記、休日営業日につきましては、明らかな天候不順が予想される場合は休業とさせていただきます場合もございます。休業とさせていただきます場合は事前にFAX・JAコネクTにてご案内いたします。

また、10月1日(火)は棚卸監査のため午前休業となりますが、13:00~17:00まで営業いたしますので、ご利用いただきますようご案内いたします。(コスモスベリーズ含む)

休日営業日：9月14日(土)・9月15日(日)・9月16日(祝日)・9月21日(土)

9月22日(日)・9月23日(祝日)・9月28日(土)

営業時間 8:40~12:00

9・10月 購買事業カレンダー

日	曜日	行	事
9月4日	水		
9月5日	木		
9月6日	金		
9月7日	土	閉所	
9月8日	日	閉所	
9月9日	月		
9月10日	火		
9月11日	水		
9月12日	木		
9月13日	金		
9月14日	土	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月15日	日	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月16日	月	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月17日	火		
9月18日	水		
9月19日	木		
9月20日	金		

日	曜日	行	事
9月21日	土	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月22日	日	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月23日	月	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月24日	火		
9月25日	水		
9月26日	木		
9月27日	金		
9月28日	土	休日営業(8:40~12:00)	肥料のみ
9月29日	日	閉所	
9月30日	月	休業(棚卸)	
10月1日	火	棚卸監査(午前休業)13:00~17:00営業	
10月2日	水		
10月3日	木		
10月4日	金		
10月5日	土	閉所	
10月6日	日	閉所	
10月7日	月		

※ 次回の農薬空容器回収日は10月10日(木)となります。

初級職員 組合員宅研修報告

先月号に引き続き、初級職員の組合員宅研修の様子を掲載いたします。

①研修先 ②主な研修内容 ③研修を終了して今後の抱負 ④お世話になった研修先に一言

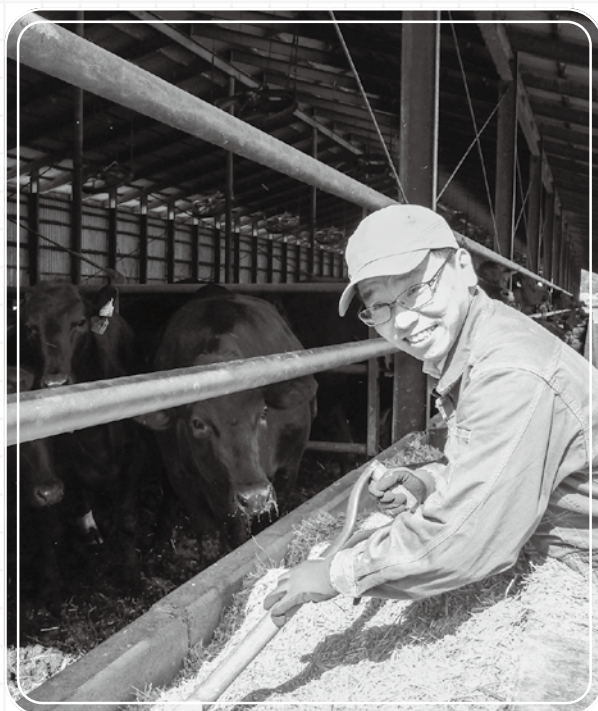


所属部署：信用部 組合員相談課 氏名：根本 裕樹

- ① 西土狩西 舟渡 秀博 様 宅
- ② 長いもポール立て、ネット張り
- ③ 農作業は初めての経験ではありますが、長いもを生産するために想像以上に大変な作業をしていることに率直に驚きました。良い作物を作るための下準備や作業を効率よくおこなう工夫・知識、作業技術などは大変勉強になり、これらの経験は組合員の皆さまと接していくうえでの大きな財産となりました。組合員の皆さまに少しでも貢献できるよう今後の糧にしていきたいと思います。
- ④ 気さくに話し掛けていただくなど、本当に良くしていただき、感謝に堪えません。皆さまのおかげで作業を楽しく一生懸命取り組むことができました。本当にありがとうございました。

所属部署：畜産部 畜産課 氏名：西沢 和剛

- ① 関山 株式会社 大野ファーム 様 宅
- ② 肉牛肥育業務（エサやり、エサ返しほか）、肉牛哺育業務（ミルクやりほか）など
- ③ 毎日のJA職員としての業務をもう一度見直すきっかけになる研修でした。より良い肉牛を育て、食卓へ美味しいお肉を届けるために、現場レベルで大変な苦労があることを実感しました。今後は、組合員の皆さまのために頑張れるよう精進していきたいです。
- ④ 大変お世話になりました。皆さまが慣れた手つきでおこなう作業は本当に難しく、身体も頭も使いながら仕事をしていく姿は勉強になりました。今後も皆さまとお付き合いさせていただく機会も多くなりますので、一日でも早く信頼していただけるよう頑張ります。お店の方へ食事に行けたらと考えております。





所属部署：信用部 貯金課 氏名：小田 桐 鈴

- ① 上関山 大谷 寿仁 様 宅
- ② 南瓜のは種・補植
- ③ 一つ一つの作業を丁寧に、そして農作物を大切に管理されている姿を見て、私も日々の業務を怠ることなく、丁寧かつ正確におこないたいと感じました。また、一緒に作業する方々への気遣いやお互いを支え合うことの大切さを実感する機会となりました。短い研修期間ではありましたが、農作業や仕事に取組む姿勢などを学べる充実した時間を過ごせました。
- ④ 大谷様をはじめ、ご家族の皆さまの明るい雰囲気のおかげで、楽しく作業をすることができました。研修を通じて、農業に対するイメージが良いものになりました。炎天下の中、体調を気遣ってくださったり、私の作業が終わっていないところをサポートしていただいたりと、たくさんのお気遣いありがとうございました。秋の研修も楽しみにしております。

【退職】令和6年8月16日付

本間 大輔（農産部 青果課）

在籍中は、大変お世話になりました。芽室町農協の今後の発展をお祈りして、退職の挨拶に代えさせていただきます。



第35回芽室町農協年金友の会 総会の開催について

7月11日、本部事務所2階大会議室において、第35回芽室町農協年金友の会総会を開催いたしました。令和元年度以降5年ぶりの開催となった本総会では、110名の会員の皆さまにご参加いただき、年金友の会の会則の変更などについて協議させていただきました。

これまで会員の皆さまから選出された役員により会の企画・運営をおこなってまいりましたが、会員の皆さまの負担軽減を図るため、事務局である信用部貯金課が企画・運営をおこなうことについて承認をいただきました。

平成2年の設立時379名から始まった年金友の会も現在2,177名となり、歴代役員の皆さまのご尽力や会員の皆さまに支えられ、友好の輪が広げられたことに感謝いたします。

今後も更なる友好の輪が広がるよう、事務局が皆さまに喜んでいただける企画・運営をおこなってまいります。

本年度の年金友の会の行事は、11月上旬に「まちなか演奏会」、2月に「年金無料相談会」を予定しております。詳細は後日ご案内いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



年金友の会総会のようす

!! 参加者募集 !!

JAめむろ食育講座

収穫の秋・贅沢に満喫しましょう♪



料理講習会



時間 9:00～13:00

- ① 10月9日(水) 手作りとうふ
- ② 10月16日(水) スイートポテト
- ③ 10月23日(水) 手打ちそば
- ④ 10月30日(水) 手作り味噌

定員: 各回10名

参加料: 手作りとうふ 2,000円
スイートポテト 2,200円
手打ちそば 2,500円
手作り味噌 3,000円



持ち物: バンダナ・エプロン・タオル・マスク・
味噌は5kg位入る樽、袋2枚、お持ち帰り用容器

一緒に学ぼう! つくる楽しさ・食の大切さ!

親子お菓子教室

日時: 10月5日(土) 9:00～12:00

メニュー: シフォンケーキ

定員: 親子10組(小学生以上)

参加料: 無料

持ち物: バンダナ・エプロン・タオル・マスク・
お子さんはきれいな長靴をご用意ください。

今回が『今年最後』の親子教室です! 楽しみましょう♪

「緑のめぐみ館」は、個人・団体・グループで気軽にご利用できる加工調理体験施設です。

◆お申し込み・お問い合わせ: 「緑のめぐみ館」 TEL/FAX 62-5379

芽室町東めむろ3条南1丁目「愛菜屋」東隣

共済課からお知らせ

傷害共済のご案内

「普通傷害共済(集団契約)」にご加入されている方へ

毎年10月1日に継続日を迎えられます普通傷害(集団契約)について、内容変更のお申し出がない場合、昨年と同内容で自動継続となります。

保障の見直しをご検討されている方につきましては、共済窓口にて変更のお手続きをいただきますようお願いいたします。

また、**81歳・70歳・50歳の方**は加入限度額が変更となるため、自動継続がされません。

変更後の保障額にて加入をご希望される場合、お手続きが必要となりますのでご案内が届きましたら、共済窓口へお越しいただきますようお願いいたします。

また、非継続をご希望される方につきましてもその旨共済課までご連絡ください。

*事前に郵送されます『傷害共済契約終了のお知らせと継続のご案内』のすすめる内容でのご継続となります。

お問い合わせ先: JAめむろ共済課 TEL: 62-4234

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第1回「東野秀樹」氏が組織代表に決定

全国のJAグループの農政組織である全国農政連では、現在JAグループ代表として現職である参議院議員「山田としお」氏が任期満了で退任することを受け、来年夏の参議院選挙に向けて、引き続きJAグループの候補者を擁立することとなりました。

これを受け、北海道のJAグループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、「北海道から農民代表を国政に送るべき」との強い意見を踏まえ、現在ホクレン代表監事で、JA道北なよろ会長である「東野ひでき」氏を、全国JAグループの推薦候補者とすべく、擁立した経過にあります。

全国段階では、千葉県からも1名の立候補があったため、組織内で予備投票を行った結果、東野ひでき氏が全国のJAグループの組織内候補として決定いたしました。

今後、全国のJAグループの代表として活動いただくために、地元北海道として支援の輪を広げてまいりましょう。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。

次回（第2回）は、東野ひでき氏の主張や人柄について紹介します。

東野ひでき北海道後援会

JAバンクアプリ プラス

新登場!

アプリで全部できるぞう。



振込・振替



カードローン*



税金・
各種料金の払込み
(ペイジー)



住所・電話番号
変更

アプリで完結!
来店・郵送不要

JAバンクを初めて
ご利用の方に



口座開設*

アプリで完結!
来店・郵送不要



いつでも
手続きできるぞう。

☑
通勤中に



☑
休憩中に



☑
帰宅後に



JAバンクアプリ プラスのダウンロードは
こちらから。



口座開設と合わせて、
JAカード(単機能型)への
お申し込みもできます!



※JAによってお取り扱いできない場合や、一部機能に制限を設けている場合、対象商品・案件が異なる場合があります。

©よりぞう

 JAバンク

理事会だより

第5回（7月19日開催）

- ・議案第1号 出資金の譲渡承認について
- ・議案第2号 出資金の減口承認について
- ・議案第3号 利益相反取引に係る貸付について
- ・議案第4号 令和6年度食用馬鈴しょ取扱要領について
- ・議案第5号 令和6年度その他馬鈴しょ取扱要領について
- ・議案第6号 令和7年度小麦の出荷契約面積及び数量について

報告事項

- 1 主要なる内部及び外部会議の概要について
- 2 令和6年度第1四半期内部監査結果報告について
- 3 組合員の加入・脱退状況について
- 4 固定資産の取得について（フーズ第2工場計量包装室空調設備改修工事ほか）
- 5 第1四半期コンプライアンスに係る対応状況について
- 6 令和6年度JA共済コンプライアンス点検について

- 7 令和5年度経営分析結果について
- 8 余裕金の運用状況（令和6年度第1四半期末）について
- 9 要管理組合員の投資及び営農計画の見直しについて
- 10 令和6年度各種懇談会の開催について
- 11 令和6年度作付実態面積について
- 12 令和6年度ジェイエイめむろフーズ（株）向け冷凍加工用さやいんげん・えだまめの取扱要領について
- 13 令和6年度ジェイエイめむろフーズ（株）向け冷凍加工用ブロッコリーの取扱要領について
- 14 めむろファーマーズマーケット「愛菜屋」第1四半期販売状況について
- 15 食品加工事業の販売・製造及びジェイエイめむろフーズ（株）6月末財務実績について
- 16 ジェイエイめむろフーズ（株）人事異動発令について
- 17 令和6年度堆肥センター6月末稼働実績について

連載JAの基礎【報徳編】

第22回 協同組合と報徳Ⅶ

◆協同組合の精神 ～報徳を抛りどころとして～◆

協同組合をより強固な組織として発展させるためには、アイデンティティ（協同組合らしさ）を確立すること、役職員、組合員が協同組合精神を共有することが何よりも重要です。

現在の農・漁協の草創期において、組合のリーダーであった諸先輩がたが最も苦心したのが、協同すること（相互扶助）の意義を組合員が共有すること、他人依存をあらため、自立した組合員が積極的に組合運営を担うことでした。

農・漁協は法律によって制度としては発足しましたが、組合員や役職員の協同組合精神を作り上げることはより困難な課題でした。この困難な取り組みを、北海道のリーダーたちは各地において報徳仕法に依拠して進めました。その精神は今も北海道の協同組合運動に引き継がれています。

心の田畑に生じる草（私欲）を刈り、己に克つことが人の道である。

天理と人道との差別を、よく理解できる人は少ない。およそ人の身があれば欲があるのは自然であって、田畑に草が生じるのと同じことだ。堤は崩れ、堀は埋まり、橋は朽ちる。これがすなわち天理なのだ。そこで人道は、私欲を抑えることを道とし、田畑の草をとるのを道とし、堤は築き立て、堀はさらい、橋は掛け替えるのを道とする。

このように、天理と人道は別々のものだからして、天理は昔から変わらないが、人道は一日怠ればたちまちすたれる。だから人道はつとめることを尊び、自然に任せるのを尊ばない。そうして、人道でつとめるべきことは、「己に克つ」という教えだ。「己」とは私欲のことだ。私欲は田畑にたとえれば草だ。「克つ」とは、この田畑に生じる草を取り捨てることをいうのだ。

「己に克つ」というのは、わが心の田畑に生じる草をけずり捨て、取り捨てて、わが心の米麦を繁茂させる勤めのことだ。これを人道というのであって、論語に「己に克って礼に復る」とあるのはこの勤めなのだ。

（夜話 己に克つのが人道）

法施行の十二月十五日には、相当の町村に設立発起人会が持たれたのである。

連合会の設立についても、五月には本道一円を地域とする信連、事業連の二連合会の設立発起人会が持たれ、その後、いわゆる縦割りの改正法案が発表されるや、それぞれ事業別に分立することに變更し、二十三年六月二十五日信連、同二十六日購連、二十七日販連、二十八日厚生連、七月十七日指導連、十八日共済連、十九日酪販連の順で創立総会が終了した。

この連合会設立の動きは、単協のときよりもはるかに強く、直接農民の意志によらないで進められた点が少なくなかった。これは、道農業会の解体期限を目前にして、空白期間を生ぜず、混乱を来たさなかつたことに役立ったが、このときの地区連設立の動機は、従来の中央集権的なものへの批判から生じたものであつた。

また組合組織をめぐるいろいろな問題が山積した。

まず、組合意識の低調、ついで兼営か単営かという問題。また従業員の七割四分（全道平均）が新人であるための運営経験の乏しさ。従つて商工資本におびやかされる危険。それに資金不足という決定的な圧迫。生産事業の停滞。購買、販売、利用事業面での経営難。そこへもつてきてとられたデイスインフレ政策のために各種補助金の大巾削減、あるいは資産評価額に対する課税、農産物の統制継続その他多くの課題が農協組をつつんでいたのである。

これを指導する側は「組合を所有するもの、支配するものは組合員をそのものである」の格言を持出して尻をたたいたが、かつての産組運動の先覚者は百も承知の言葉であつた。

芽室農協も、以上のような条件下におかれて、悪路をきりひらいてきたが、スタートが早かつたこと（二十三年二月二十八日現在本道の農協組設立数三十五。同年七月末四百五十九）と、新時代の感覚を身につけた新人群と農地改革の好調あるいは産組のベテランに事欠かなかつたこと、さらに立地条件にめぐまれていたことなどが今日の大をなす基盤となつていたのである。

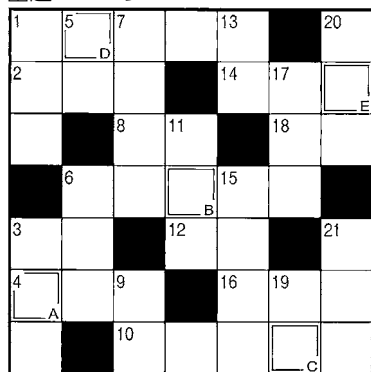
（十月号につづく）

パズル？ 頭の体操



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

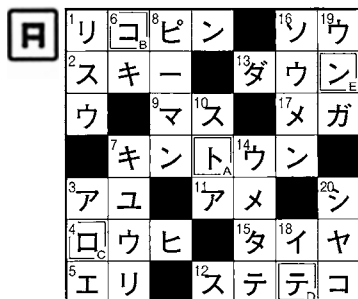
出題：ニコリ



※解答は10月号に掲載いたします。

8月号の
解 答

ABCDE
トコロテン



ヨコのカギ

- 9月2日は——の日。ハズレくじ対象の抽選もあります
- ドミソとかドファラとか
- 握りずしを数えるときに使う言葉
- ミョウガはこの部分や若い茎を食べます
- 前身は江戸です
- 敬老の日——へ日本酒を贈った
- 素晴らしい考えのこと
- 南の島に似合う植物
- 手振りを交えて説明した
- 急須のお茶を注ぎます
- ノブを持ってあけます



タテのカギ

- わらなどで編んで米や炭を詰めます
- 「」や「」のこと
- 長く連れ添った夫婦は似てくるとか
- アキアカネ、オニヤンマといえ
- からすみはボラなどの——を加工したものです
- 食パンのふちの部分
- 筒に強く息を送り込んで矢を飛ばします
- 派手なところがありません
- 明日の授業に備えて——をした
- 房で売られる果物
- 神の起こした洪水を箱舟で乗り越えました
- 天竺牡丹(てんじくばたん)とも呼ばれるキク科の花
- 一時的に寝ること

解 答 欄

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

芽室町農協史

【本篇…芽室農協の十年】

連載 No. 46

組合設立への歩み

芽室に春は近づいた。その日は、ガラリと晴れ上り、まぶしい陽光が十勝山脈の雪肌を射て、一層、青空の無限を思わせた。

馬ソリの列が黒々とつづき、踏みかためられた雪路はつるつるにすべり、人々の足は絶えなかつた。

やがて、その列が途絶えると、運動場の方から怒濤のような拍手がきこえてきた。

昭和二十三年二月二十七日午後二時

芽室小学校 屋内運動場

出席者 一、二二二名（内本人出席一、〇八二名）

これが、そのとき、つまり芽室町農業協同組合創立総会の記録である。

総会は、一千余人の総意を反映して、寒さもとわず夜の十一時半までつづいた。この町に、いや日本の農民のために記念すべき農業協同組合が、今、生れ出るところであつた。

これより先、二十二年七月に発起人会が設置され、さらに二十三年一月十一日に、林外松氏を代表として発起人会がひらかれ、その結果、創立総会を開催することをきめ二月十二日にその旨を公示したのであつた。

戦後の農民は、いまや新しい経済組織と精神の支柱を持つとするのであつた。しかしここへ到る途も、けつして近いものではなかつた。

昭和十八年九月の農業団体法の公布は、国策遂行機関としての農業会の誕生をみたのだが、事実上は非農民的支配権力の圧制に黙々と服従せざるを得ない有様だつた。従つて戦後これに対する世の批判がきびくなるのは当然のことで、昭和二十二年十二月九日、GHQから発せられた農民解放令の反響はきわめて大きいものがあった。

解放令は、政府が非農民的利害に支配されず、かつ日本農民の経済的、文化的進歩を目的とする農業協同組合の育成と奨励に関する計画を、三十一年三月十五日まで提出するよう命じたのである。

その第一案が出たのが五月のことで、さらに幾たびか修正案が生れ、二十二年三月に第四次案、五月に五次案、そして七次案でようやく成案となつたのだが、この間実に一年余、結局二十二年八月からの国会に提出され、十一月十九日公布、十二月十五日施行となつた。

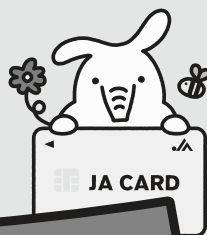
これによつて生れた組合の業務開始に当つては、大体、農業会資産の引継を必要としたが、農業会の整理方針がおくれたため、正式な引継はうけられず、実質的には四月から六、七月にかけて資産負債の引受を終了した。

本道の農協設立前後

本道では二十一年十二月に、早くも農業会関係者によつて農協組設立の動きが発生、当時、北海道農業会々長岡村文四郎氏を会長として北海道農業協同組合協会が発足した。一方農民運動の立場からも、具体的活動がはじめられたが、こうした組合設立の原動力となつたのは本来ならば農民の自主的立上りによるものでなければならぬのが、官庁や外部からの誘導勢力によつた場合が圧倒的に強かつた。これは農地改革にせよ農協組にせよ、戦後一連の農村民主化の協同組合制度が農民自らの力によつて獲得出来なかつたこと、またその趣旨が短時日のうちに農村に滲透しなかつたことなどが原因であつた。

しかし、低調であつた一般農民の関心も、最後案が出された頃から次第に高まり、協組協会や農業会の啓蒙宣伝と相まって、ようやく設立気運が醸成されていった。

9月・10月はさらにおトク！



©よりぞう

JAカード限定！直売所キャンペーン

15% おトク！

JA直売所の
ご利用が

いつでも！
5%割引

+

9月・10月限定！
10%相当ポイント還元



JA直売所（JAカード5%割引実施店舗）で、対象期間中にJAカードをご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当分※をポイント還元！
いつもの5%割引と合わせて、15%相当おトクにご利用いただけます！

※還元ポイントの上限は2,500ポイント（10,000円相当）です。

いつでもおトクな
JAカード特典！

JA直売所のご利用は
請求時

5% 割引！

※一部対象外の店舗がございます。

9月・10月限定！キャンペーン

JA直売所の
ご利用金額の

10%相当
ポイント還元！

対象期間 2024年9月1日（日）～10月31日（木）

還元時期 2025年1月

対象期間中のJA直売所でのご利用金額合計の10%相当分
から還元ポイント（4円で1ポイント）を計算します（小数点
以下は切り捨て）。還元ポイントの上限は2,500ポイント
（10,000円相当）です。

※ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールド
ポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。※還元金額は
ポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額（1ポイント
を4円換算で交換）を記載しています。

■特典の詳細はこちら

<https://www.cr.mufg.jp/jafarmmarket2024/>



※本紙記載の情報は2024年4月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。

※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。

※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等のお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本
特典は適用されません。